

ご遺族のみなさまへ

ご遺体を、救急処置に必要な解剖学的変異の解明および
実技研修法の検討に使用させていただくことへのご承諾のお願い

防衛医科大学校解剖学講座では、献体されたご遺体をお引き取りする際に、学生教育だけでなく卒後の医官等の臨床解剖学実習での使用をご承諾いただいています。今回それ以外に、救急救命措置に関わる解剖学的な知見の検討と、救急救命措置の手技に関する研修に使用させていただくことをお願いするものです。

本研修の実施については、防衛医科大学校倫理委員会の審査および防衛医科大学校長の許可を受けております。

研修の目的、方法、および意義

防衛医大の卒業生を中心とする自衛隊衛生に関わる隊員は、災害時や有事において外傷を負った隊員や国民の命を守る使命があります。限られた設備や人員しかない状況で、一度に大量に発生する傷病者を治療するには、一般病院における診療とは異なる知識や技術が求められます。

本校や自衛隊中央病院では救急部等において外傷患者の診療を行い、医官や他の医療スタッフの知識・技術の向上に勤めているところですが、それだけでは十分とは言えません。そこで本年8月に本校の臨床解剖学実習棟において、米国外科学会や日本外科学会で実施している外傷外科手術トレーニング（ASSET）コースの実施を計画しています。

この研修では、四肢、頸部、胸腹部等の太い血管に迅速に到達し、止血や縫合等を実施するなどして、受傷者の生命を維持して設備の整った施設へ搬送するための知識と技術を習得させます。解剖を行い、個体差を含む必要な知識を習得して技術の研鑽を積む点は、通常ご承諾いただいている臨床解剖学実習と大きく変わる点はありません。ただ、解剖学的知識の確認や習得を主な目的とする臨床解剖学実習に対して、本研修は技術的研鑽により重点が置かれており、実施する際にご本人あるいはご

遺族の同意を得ることが学会から求められております。また、実施後は日本外科学会等に報告をいたします。

この研修によって、より高度な救急救命措置を身につけた医官、その他の医療スタッフが増えることで、大規模災害や有事においてより多くの命を救うことができると期待されます。

個人のプライバシーについて

研究に使わせていただくご遺体について、個人を特定できるような情報は防衛医科大学校献体事務室内で厳重に管理し、受講者を含めて第三者に明かすことはありません。

また、本計画は正常の構造の個人差に習熟し、救急救命措置の研鑽を積むことが目的で、特定の疾患や遺伝情報の分析などには関係ありませんので、その点でも献体者やご遺族の利益や不利益に関する情報を私たちが得ることはありません。

本トレーニングの過程で、今後研修方法を改善する上で必要な解剖学的所見、画像を保存させていただくことがあります。そのデータも個人を特定できるような情報は防衛医科大学校献体事務室内で厳重に管理し、第三者に明かすことはありません。

不同意の場合

ご遺族に同意していただいた場合にのみ、ご遺体をこの目的で使用いたします。ご遺族が同意されない場合には、ご遺体を通常の解剖学実習に使わせていただきます。同意しないことによって、なんら不利益を被ることはありません。また、本トレーニングの終了後に同意を撤回される場合は、ご遺体の使用法を変えることはできませんが、記録したデータをすべて破棄いたします。

以上の点をご理解いただきまして、ご遺体の外傷外科手術トレーニング (ASSET) コースでの使用をご承諾いただきますよう、お願い申し上げます。

す.

防衛医科大学校 解剖学講座
教授 小林 靖

防衛医科大学校病院 救急部
教授 清住 哲郎

連絡先：防衛医科大学校献体事務室 佐々木宏技官
住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
電話：04-2995-1211（内線 2261）
メールアドレス：kentail@ndmc.ac.jp